

目次 （令和7年度実施計画書）

【施策の大綱3】豊かな自然と歴史文化を守り継承します

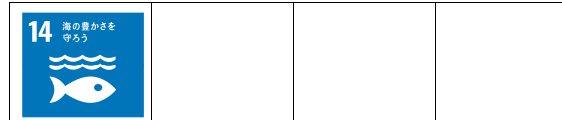
ページ	大綱	分野	事業名	事業区分	課名
109	3	10-1	歴史的資料整理公開活用事業	継続事業（公約）	企画課
110	3	10-1	中城城跡整備事業	継続事業	生涯学習課
111	3	10-1	中城ハンタ道整備事業	継続事業	生涯学習課
112	3	10-1	村内遺跡調査事業	新規事業（通常）	生涯学習課
113	3	10-1	史跡整備基本計画作成事業	新規事業（通常）	生涯学習課
114	3	10-1	緊急発掘調査事業	新規事業（緊急）	生涯学習課
115	3	10-2	文化団体育成支援事業	継続事業	生涯学習課
116	3	10-2	地域多世代交流事業	新規事業（通常）	生涯学習課
117	3	8-1	合併処理浄化槽設置整備事業	継続事業	住民生活課
118	3	8-1	不法投棄未然防止対策事業	継続事業	住民生活課
119	3	9-1	家庭系ごみ収集運搬委託事業	継続事業	住民生活課
120	3	9-1	一般廃棄物減量化事業	継続事業	住民生活課
121	3	9-1	ごみ処理施設広域化事業	継続事業	住民生活課

実施計画書（令和7年度～令和9年度）



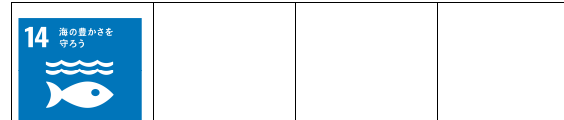
事業名										合併処理浄化槽設置整備事業																					
令和6年度 事業費			6,008		千円		令和7年度 事業費			6,008		千円		対前年度 増減額			0		千円		総事業費 (令和7～9年度)			18,024		千円		事業区分		継続事業	
事業概要										第五次総合計画での位置付け														担当課							
生活雑排水による河川等公共水域の水質汚濁防止法を目的として、合併処理浄化槽の新設及び単独浄化槽等からの切換に対する補助金制度。対象地区は、公共下水道整備計画区域外及び下水道整備計画区域内であっても7年以内に下水道接続が見込まれない地域。										施策の大綱		3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します												住民生活課							
										基本施策		⑧中城の美しい自然環境を保全します												担当係		生活環境係					
										分野		8-1 自然環境の保全												担当名		宮城正也					
										その他関係施策														内線番号		137					
										事業期間		令和		7		年		～		令和		9		年		積算資料		有			
事業を実施する必要性と現状の課題														事業実施効果																	
水環境の保全を目的として、合併処理浄化槽設置に係る費用負担の軽減を図る。課題としては、合併処理浄化槽設置後の適正管理（清掃・点検の義務）の必要性を周知する必要がある。														合併浄化槽の普及により、河川や海水域、用水路等の汚染を防止し、環境負荷を軽減することで生活環境の保全及び循環型社会形成が推進される。																	
令和7年度						令和8年度						令和9年度																			
予算項目		事業費(千円)		内 容		予算項目		事業費(千円)		内 容		予算項目		事業費(千円)		内 容															
合併処理浄化槽補助金		6,008		5人槽:332,000円×9基		合併処理浄化槽補助金		6,008		5人槽:332,000円×9基		合併処理浄化槽補助金		6,008		5人槽:332,000円×9基															
				7人槽:414,000円×2基						7人槽:414,000円×2基						7人槽:414,000円×2基															
				10人槽:548,000円×4基						10人槽:548,000円×4基						10人槽:548,000円×4基															
合計		6,008				合計		6,008				合計		6,008																	
財 源 内 訳						財 源 内 訳						財 源 内 訳																			
国庫補助金名		地方創生整備推進交付金		2,000 千円 33.3%		国庫補助金名		地方創生整備推進交付金		2,000 千円 33.3%		国庫補助金名		循環型社会形成推進交付金		3,004 千円 50.0%															
県補助金名				千円		県補助金名				千円		県補助金名				千円															
地方債				千円		地方債				千円		地方債				千円															
その他（ ）				千円		その他（ ）				千円		その他（ ）				千円															
一般財源				4,008 千円 66.7%		一般財源				4,008 千円 66.7%		一般財源				3,004 千円 50.0%															
令和7年度 目標 (KPI等)		合併浄化槽の普及 人槽:9基 7人槽:2基 10人槽:4基				5		令和7年度 との相違点		合併浄化槽の普及 人槽:9基 7人槽:2基 10人槽:4基				5		令和8年度 との相違点		合併浄化槽の普及 人槽:9基 7人槽:2基 10人槽:10基				5									
今後の展開		単独浄化槽からの切換を重点的に啓蒙活動を実施する。						目標		単独浄化槽からの切換を重点的に啓蒙活動を実施する。						目標		単独浄化槽からの切換を重点的に啓蒙活動を実施する。													

実施計画書（令和7年度～令和9年度）



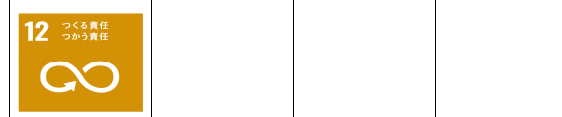
事業名										不法投棄未然防止対策事業																	
令和6年度 事業費		9,530		千円		令和7年度 事業費		9,836		千円		対前年度 増減額		306		千円		総事業費 (令和7～9年度)		29,508		千円		事業区分		継続事業	
事業概要										第五次総合計画での位置付け												担当課					
不法投棄監視パトロールや監視カメラ及び看板設置を実施し、不法投棄未然防止対策を実施する。不法投棄の早期発見や迅速かつ適正な処理を実施し、景観及び生活環境の保全を図る。										施策の大綱		3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します										住民生活課					
										基本施策		⑧中城の美しい自然環境を保全します										担当係		生活環境係			
										分野		8-1 自然環境の保全										担当名		宮城正也			
										その他関係施策												内線番号		137			
事業期間										令和		7		年		～		令和		9		年		積算資料		無	
事業を実施する必要性と現状の課題														事業実施効果													
不法投棄は、廃棄物の不適正処理による環境汚染、景観の悪化を招き、土地の適正利用の妨げとなるなど生活環境への悪影響が大きい。村内においては、大規模な産業廃棄物の不法投棄は減少傾向にあるが、家庭系ごみ・家電リサイクル法対象の家電や、ペットボトル・空き缶等の「ごみのポイ捨て」があとを絶たない状況であり、地域の推進員設置等の対策を検討する必要がある。														不法投棄の監視及び広報等による「不法投棄は犯罪である。」村民の意識啓発することで「ごみのポイ捨て」を減らすことができ、また、不法投棄の早期発見・収集・適正処理を行うことで生活環境及び景観の保全に繋がることが期待できる。													
令和7年度						令和8年度						令和9年度															
予算項目		事業費(千円)		内 容		予算項目		事業費(千円)		内 容		予算項目		事業費(千円)		内 容											
人件費		6,872		会計任用職員2名		人件費		6,872		会計任用職員2名		人件費		6,872		会計任用職員2名											
消耗品費		95		看板等		消耗品費		95		看板等		消耗品費		95		看板等											
燃料費		96		軽トラ燃料		燃料費		96		軽トラ燃料		燃料費		96		軽トラ燃料											
修繕費		75		軽トラ修繕		修繕費		75		軽トラ修繕		修繕費		75		軽トラ修繕											
手数料		1,715		不法投棄等処理費		手数料		1,715		不法投棄等処理費		手数料		1,715		不法投棄等処理費											
重機借上料		983		不法投棄等運搬費		重機借上料		983		不法投棄等運搬費		重機借上料		983		不法投棄等運搬費											
合計		9,836				合計		9,836				合計		9,836													
財 源 内 訳						財 源 内 訳						財 源 内 訳															
国庫補助金名				千円		国庫補助金名				千円		国庫補助金名				千円											
県補助金名				千円		県補助金名				千円		県補助金名				千円											
地方債				千円		地方債				千円		地方債				千円											
その他（ ）		不法投棄未然防止事業協力金		866 千円 8.8%		その他（ ）		不法投棄未然防止事業協力金		866 千円 8.8%		その他（ ）		不法投棄未然防止事業協力金		866 千円 8.8%											
一般財源				8,970 千円 91.2%		一般財源				8,970 千円 91.2%		一般財源				8,970 千円 91.2%											
令和7年度 目標 (KPI等)		不法投棄パトロールの強化(50回以上/年) 通報後の即時対応（警告看板設置等） 期回収、監視の強化（監視カメラの増設）				早		令和7年度 との相違点		既設及び増設したカメラを不法投棄頻繁箇所に効果的に設置し、投棄者の特定を目指す。				令和8年度 との相違点		既設及び増設したカメラを不法投棄頻繁箇所に効果的に設置し、投棄者の特定を目指す。											
今後の展開		監視カメラの増設、警察と連携して抑止力の強化を図る。				目標		監視カメラを活用しつつ、関係機関と連携、地域からの情報、定期パトロール、推進員設置の検討を実施し、不法投棄の防止対策を図る。				目標		監視カメラを活用しつつ、関係機関と連携、地域からの情報、定期パトロール、推進員設置の検討を実施し、不法投棄の防止対策を図る。													

実施計画書（令和7年度～令和9年度）



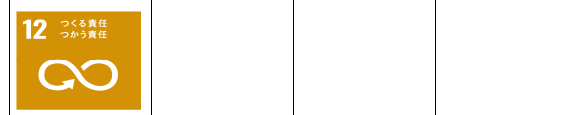
事業名										家庭系ごみ収集運搬委託事業																																																	
令和6年度 事業費					46,567 千円					令和7年度 事業費					47,594 千円					対前年度 増減額					1,027 千円					総事業費 (令和7～9年度)					142,782 千円					事業区分					継続事業														
事業概要															第五次総合計画での位置付け																				担当課																								
家庭ごみの戸別収集及び運搬 ・塵芥収集：可燃、不燃、危険ごみ 2社 ・資源ごみ収集：ビン、缶、古紙、古布、ペットボトル等 1社 ・粗大ごみ収集：指定ごみ袋に入らない家庭ごみ 1社 ごみの有料化による戸別収集を実施し、ごみの分別等排出責任を涵養し、減量化・再資源化・適正処理を推進する。															施策の大綱					3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します															住民生活課																								
															基本施策					⑨地球環境に配慮した取組みを推進します															担当係					生活環境係																			
															分野					9-1 ゴミ減量とリサイクルの促進															担当名					宮城正也																			
															その他関係施策																				内線番号					137																			
事業期間										令和					7					年					～					令和					9					年					積算資料					有									
事業を実施する必要性と現状の課題																				事業実施効果																																							
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2（市町村の処理等） 家庭ごみを戸別収集・運搬し、ごみ処理施設において適正処理を行い生活環境の保全を図る。また、随時、効率的なごみ収集ができるよう、収集方法・体制の見直しを実施する。																				戸別収集の実施により、ごみ分別に対する排出責任意識を高め、適正処理により生活環境の保全及び再資源化の推進が図られる。																																							
令和7年度										令和8年度										令和9年度																																							
予算項目					事業費(千円)					内 容					予算項目					事業費(千円)					内 容					予算項目					事業費(千円)					内 容																			
塵芥収集運搬委託料					25,156					塵芥収集 2社					塵芥収集運搬委託料					25,156					塵芥収集 2社					塵芥収集運搬委託料					25,156					塵芥収集 2社																			
粗大ごみ収集運搬委託料					3,468					粗大ごみ 1社					粗大ごみ収集運搬委託料					3,468					粗大ごみ 1社					粗大ごみ収集運搬委託料					3,468					粗大ごみ 1社																			
資源ごみ収集運搬委託料					18,970					資源ごみ 1社					資源ごみ収集運搬委託料					18,970					資源ごみ 1社					資源ごみ収集運搬委託料					18,970					資源ごみ 1社																			
合計					47,594										合計					47,594										合計					47,594																								
財 源 内 訳										財 源 内 訳										財 源 内 訳																																							
国庫補助金名										千円					国庫補助金名										千円					国庫補助金名										千円																			
県補助金名										千円					県補助金名										千円					県補助金名										千円																			
地方債										千円					地方債										千円					地方債										千円																			
その他（ ）					古紙・古布売払金					1,010 千円 2.1%					その他（ ）					古紙・古布売払金					1,010 千円 2.1%					その他（ ）					古紙・古布売払金					1,010 千円 2.1%																			
一般財源										46,584 千円 97.9%					一般財源										46,584 千円 97.9%					一般財源										46,584 千円 97.9%																			
令和7年度 目標 (KPI等)					ごみの分別を徹底し、ごみの排出責任意識を高め1人あたりの排出量の抑制及び再資源化を推進する。															令和7年度 との相違点					ごみの排出責任を高め、ごみの減量化・再資源化を推進する。															令和8年度 との相違点					ごみの排出責任を高め、ごみの減量化・再資源化を推進する。														
今後の展開					収集体制、再資源化収集等の見直し等を検討する。															目標					1人あたりのごみの排出量の抑制及び再資源化を推進する。															目標					1人あたりのごみの排出量の抑制及び再資源化を推進する。														

実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名										一般廃棄物減量化事業																																																																													
令和6年度 事業費				5,771 千円				令和7年度 事業費				16,648 千円				対前年度 増減額				10,877 千円				総事業費 (令和7～9年度)				49,944 千円				事業区分				継続事業																																																			
事業概要										第五次総合計画での位置付け																		担当課 住民生活課																																																											
																																				指定ごみ袋の有料化等などの施策により、ごみ排出量の抑制による減量化や、ごみや環境に対する住民の意識改革を図る。								施策の大綱								3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します								担当係								生活環境係																			
																																												基本施策								⑨地球環境に配慮した取組みを推進します								担当名								宮城正也																			
																																												分野								9-1 ゴミ減量とリサイクルの促進								担当名								宮城正也																			
																		その他関係施策																内線番号								137																																													
								事業期間								令和								7								年								～								令和								9								年								積算資料								有							
事業を実施する必要性と現状の課題																		事業実施効果																																																																					
家庭から排出されるごみについて、ごみ袋の有料化・草木の資源化・民間との連携によるリユース等の施策を実施し、分別の徹底による再資源化及びごみの減量化を図る必要がある。また、社会情勢の変化及び近隣市町村の動向に応じて一般廃棄物処理手数料の見直しを実施する。																		種類別指定ごみ袋による有料収集・草木の資源化・民間との連携によるリユース等の施策を行い、家庭ごみ分別の徹底による住民1人あたりの、ごみ排出量の減量化・再資源化・適正処理が期待される。 (1人1日当たり年間排出量) R4 家庭ごみ（資源ごみ除く）4,440,730kg/22,351人＝198.68kg/365日＝544g/人・日 R5 家庭ごみ（資源ごみ除く）4,412,820kg/22,562人＝195.58kg/365日＝535g/人・日																																																																					
令和7年度						令和8年度						令和9年度																																																																											
予算項目		事業費(千円)		内 容		予算項目		事業費(千円)		内 容		予算項目		事業費(千円)		内 容																																																																							
指定ごみ袋購入費		11,451		指定ごみ袋印刷製造		指定ごみ袋購入費		11,451		指定ごみ袋印刷製造		指定ごみ袋購入費		11,451		指定ごみ袋印刷製造																																																																							
販売処理事務手数料		5,197		販売処理事務委託料		販売処理事務手数料		5,197		販売処理事務委託料		販売処理事務手数料		5,197		販売処理事務委託料																																																																							
合計		16,648				合計		16,648				合計		16,648																																																																									
財 源 内 訳						財 源 内 訳						財 源 内 訳																																																																											
国庫補助金名				千円		国庫補助金名				千円		国庫補助金名				千円																																																																							
県補助金名				千円		県補助金名				千円		県補助金名				千円																																																																							
地方債				千円		地方債				千円		地方債				千円																																																																							
その他（ ）		指定ごみ袋売払金		16,648 千円 100.0%		その他（ ）		指定ごみ袋売払金		16,648 千円 100.0%		その他（ ）		指定ごみ袋売払金		16,648 千円 100.0%																																																																							
一般財源				千円		一般財源				千円		一般財源				千円																																																																							
令和7年度 目標 (KPI等)				浦添市・中城村・北中城村地域計画（新ごみ処理施設）に基づき、1日1人あたり排出量を、前年比2％減を目標とする。				令和7年度 との相違点				1人あたりのごみの排出量が減少した場合でも人口増加等を加味し、ごみ袋の使用料に大きな変化はないと予想し現状維持とした。				令和8年度 との相違点				1人あたりのごみの排出量が減少した場合でも人口増加等を加味し、ごみ袋の使用料に大きな変化はないと予想し現状維持とした。																																																																			
今後の展開				ごみの分別徹底、減量化、再資源化に対する意識の高揚を図る。				目標				ごみ処理広域化・新ごみ処理施設の稼働を見据え、分別・収集区域・手数料等の見直しを検討する。				目標				ごみ処理広域化・新ごみ処理施設の稼働を見据え、分別・収集区域・手数料等の見直しを検討する。																																																																			

実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名										ごみ処理施設広域化事業																													
令和6年度 事業費				115,444 千円				令和7年度 事業費				212,516 千円				対前年度 増減額				97,072 千円				総事業費 (令和7～9年度)				1,429,397 千円				事業区分				継続事業			
事業概要										第五次総合計画での位置付け																		担当課											
浦添市・中城村・北中城村の1市2村で新一般廃棄物処理施設を共同で整備し、事務の委託によりごみ処理の広域化を図る。										施策の大綱				3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します														住民生活課											
										基本施策				⑨地球環境に配慮した取組みを推進します														担当係						生活環境係					
										分野				9-1 ゴミ減量とリサイクルの促進														担当名						宮城正也					
										その他関係施策																		内線番号						137					
										事業期間				令和				7				年				～				令和				9				年	
事業を実施する必要性と現状の課題														事業実施効果																									
中城村・北中城村ともに一般廃棄物の排出量は増加しており、現在の施設（青葉苑）では処理能力超過が見込まれる。新しい施設建替の用地確保が困難であるため、1市2村で浦添市に新ごみ処理施設を共同建設し事務の委託において広域処理を行う。														建替えが困難である現施設（青葉苑）にかわる次期処理施設が確保され、住民及び企業活動の進展に伴い増加する一般廃棄物の適正処理が可能となる。																									
令和7年度										令和8年度										令和9年度																			
予算項目		事業費(千円)		内 容						予算項目		事業費(千円)		内 容						予算項目		事業費(千円)		内 容															
負担金		103,266		新一般廃棄物処理施設						負担金		281,485		新一般廃棄物処理施設						負担金		716,896		新一般廃棄物処理施設															
積立金		109,250								積立金		109,250								積立金		109,250																	
合計		212,516								合計		390,735								合計		826,146																	
財 源 内 訳										財 源 内 訳										財 源 内 訳																			
国庫補助金名						千円				国庫補助金名						千円				国庫補助金名						千円													
県補助金名						千円				県補助金名						千円				県補助金名						千円													
地方債		一般廃棄物処理事業		55,200		千円		26.0%		地方債		一般廃棄物処理事業		177,800		千円		45.5%		地方債		一般廃棄物処理事業		477,400		千円		57.8%											
繰入金		一般廃棄物処理施設建設基金		48,066		千円		22.6%		繰入金		一般廃棄物処理施設建設基金		103,685		千円		26.5%		繰入金		一般廃棄物処理施設建設基金		239,496		千円		29.0%											
一般財源				109,250		千円		51.4%		一般財源				109,250		千円		28.0%		一般財源				109,250		千円		13.2%											
令和7年度 目標 (KPI等)				R 7 実施設計等						令和7年度 との相違点				R 8 建設工事						令和8年度 との相違点				R 9 建設工事															
今後の展開				R 1 1 一般廃棄物処理施設稼働						目標				新ごみ処理施設稼働に向け1市2村連携し取り組む。						目標				新ごみ処理施設稼働に向け1市2村連携し取り組む。															

実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名 歴史的資料整理公開活用事業																			
令和6年度 事業費		18,514 千円		令和7年度 事業費		17,693 千円		対前年度 増減額		▲ 821 千円		総事業費 (令和7～9年度)		66,525 千円		事業区分		継続事業（公約）	
事業概要 NPO法人琉米歴史研究会が、中城村に寄贈した沖縄に関する膨大な量の写真等各種資料（1944～1960年代に米軍関係者が撮影）の整理、情報収集を行い公開活用を図っていく。								第五次総合計画での位置付け								担当課			
								施策の大綱		3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します						企画課			
								基本施策		⑩文化財を保存・継承します						担当係		企画調整係	
								分野		10-1 歴史環境の保存・活用						担当名		比嘉・花城	
								その他関係施策								内線番号		221・222	
事業期間				令和		4 年		～		令和		9 年		積算資料		有			
事業を実施する必要性と現状の課題										事業実施効果									
琉米歴史研究会から寄贈された膨大な量の資料は、現在ではほとんど失われてしまった戦前から戦後間もない頃の沖縄各地の風景や人々の生活を知ることのできる貴重な資料である。これら資料は、ほとんど整理されておらず公開できる状況にない。フィルム等の劣化も進行しつつあることからデジタル化も実施する必要がある。これら貴重な資料の公開、活用を図っていくためにも当該事業を実施する必要がある。										・ 資料を活用した展示会を護佐丸歴史資料図書館で開催する事で、戦前～1960年代までの沖縄の歴史を多くの人に知ってもらうことができ、護佐丸歴史資料図書館の活用にもつながる。 ・ 他市町村と連携した企画展を開催したり、学校教育等に活用できる。									
令和7年度				令和8年度				令和9年度											
予算項目		事業費(千円)		内 容		予算項目		事業費(千円)		内 容		予算項目		事業費(千円)		内 容			
報 酬		10,251		調査員4人		報 酬		9,406		調査員4人									
期末勤勉手当		3,930		調査員4人		期末勤勉手当		3,527		調査員4人									
旅 費		384		調査員交通費		旅 費		384		調査員交通費									
共済費		2,143		調査員4人		共済費		2,155		調査員4人									
報償費		15		講師代		需用費		1,064		消耗品・印刷製本費									
需用費		776		消耗品・印刷製本費		役務費		38		複写代・通信運搬費									
役務費		176		複写代・通信運搬費		使用料		128		駐車場使用料・施設使用料									
使用料		18		駐車場使用料・施設使用料		委託料		32,130		資料管理公開システム構築業務・展示パネル等作成設置業務									
合計		17,693				合計		48,832				合計		0					
財 源 内 訳				財 源 内 訳				財 源 内 訳											
国庫補助金名				千円		国庫補助金名				千円		国庫補助金名				千円			
県補助金名		沖縄振興特別推進交付金		14,154 千円 80.0%		県補助金名		沖縄振興特別推進交付金		39,065 千円 80.0%		県補助金名				千円			
地方債				千円		地方債				千円		地方債				千円			
その他（ ）				千円		その他（ ）				千円		その他（ ）				千円			
一般財源				3,539 千円 20.0%		一般財源				9,767 千円 20.0%		一般財源				千円			
令和7年度 目標 (KPI等)		・ 各種資料の情報収集 ・ 展示会の開催						令和7年度 との相違点 引き続き各種資料の情報収集を行い、情報収集のための展示会を他市町村で実施する。 令和9年度に寄贈資料をデジタルアーカイブで公開するためのシステムを構築する。						令和8年度 との相違点					
今後の展開		R6～7資料の情報収集、R8資料管理公開システム構築						目 標 ・ 各種資料の情報収集 ・ 展示会の開催 ・ 資料管理公開システムの構築						目 標					

実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名		中城城跡整備事業																									
令和6年度 事業費		36,931		千円		令和7年度 事業費		28,958		千円		対前年度 増減額		▲ 7,973		千円		総事業費 (令和7～9年度)		109,158		千円		事業区分		継続事業	
事業概要 中城城跡の保存・活用を図るため発掘調査を始めとした各種調査や修復工事などの整備事業を実施する。										第五次総合計画での位置付け												担当課					
										施策の大綱		3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します										生涯学習課					
										基本施策		⑩文化財を保存・継承します										担当係		文化係			
										分野		10-1 歴史環境の保存・活用										担当名		太田樹也			
										その他関係施策		⑧中城の美しい自然環境を保全します										内線番号		322			
事業期間				令和		7		年		～		令和				年		積算資料		有							
事業を実施する必要性と現状の課題														事業実施効果													
中城城跡は築城から600年余り経過しており、城内各所に危険個所が生じている。そのためこれらの修復を行い、発掘調査により歴史や構造を解明して史跡の保存・活用を図っていく必要がある。年々文化庁の補助額が減少しており、事業計画が遅延している。また、史跡の正しい価値を観覧者に理解してもらい、より集客を図るため近隣にグスク博物館を建設する必要がある。														城壁等の修復を行うことで史跡を恒久的に保存する事ができ、危険個所が減り観光客の観覧範囲も広がる。また、これまでの発掘調査により築城技術やグスクの歴史、海外との交易状況も徐々に解明されつつある。その成果をグスク博物館ができるまでの間、護佐丸歴史資料図書で公開して、中城城跡に関する情報発信を行うことで、さらなる集客を図ることができる。													
令和7年度						令和8年度						令和9年度															
予算項目		事業費(千円)		内 容		予算項目		事業費(千円)		内 容		予算項目		事業費(千円)		内 容											
報 酬		9,214		資料整理3・発掘作業4・整備委員		報 酬		10,326		資料整理3・発掘作業4・整備委員		報 酬		10,326		資料整理3・発掘作業4・整備委員											
期末手当等		2,906		資料整理3人		期末手当等		2,656		資料整理3		期末手当等		2,656		資料整理3											
報償費		36		専門家鑑定謝礼		報償費		36		専門家鑑定謝礼		報償費		36		専門家鑑定謝礼											
旅 費		649		県外旅費・交通費		旅 費		730		県外旅費・交通費		旅 費		730		県外旅費・交通費											
需用費		263		消耗品・燃料		需用費		262		消耗品・燃料		需用費		262		消耗品・燃料											
委託料		4,400		設計監理・測量等		委託料		4,653		設計監理・測量等		委託料		4,653		設計監理・測量等											
借上料		790		車両・機材等		借上料		872		車両等		借上料		872		車両等											
工事請負費		10,700		修復工事		工事請負費		20,565		修復工事		工事請負費		20,565		修復工事											
合計		28,958				合計		40,100				合計		40,100													
財 源 内 訳						財 源 内 訳						財 源 内 訳															
国庫補助金名		国宝重要文化財保存整備費補助金		22,532 千円 77.8%		国庫補助金名		国宝重要文化財保存整備費補助金		32,000 千円 79.8%		国庫補助金名		国宝重要文化財保存整備費補助金		32,000 千円 79.8%											
県補助金名		文化財保存事業費補助金		673 千円 2.3%		県補助金名				千円		県補助金名				千円											
地方債				千円		地方債				千円		地方債				千円											
その他（ ）				千円		その他（ ）				千円		その他（ ）				千円											
一般財源				5,753 千円 19.9%		一般財源				8,100 千円 20.2%		一般財源				8,100 千円 20.2%											
令和7年度 目標 (KPI等)		平成28年度以降、年次計画にしたがって進めてきた一の郭北側城壁（西側半分）の修復（積み直し）を行う。				令和7年度 との相違点		一の郭北側城壁中央部の修復（積み直し）を行う。				令和8年度 との相違点		一の郭内の整備													
今後の展開		令和10年度に一の郭の整備を完了し、令和11年度からは南の郭北側城壁の修復（積み直し）を行う。				目 標		一の郭北側城壁中央部の修復（積み直し）を行う。				目 標		・一の郭への文化財説明板の設置 ・一の郭内の不陸整備													

実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名										中城ハンタ道整備事業																															
令和6年度 事業費			17,309			千円			令和7年度 事業費			32,171			千円			対前年度 増減額			14,862			千円			総事業費 (令和7～9年度)			87,805			千円			事業区分			継続事業		
事業概要 歴史の道「ハンタ道」の未整備区間約250mの整備を行う。															第五次総合計画での位置付け															担当課											
															施策の大綱					3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します										生涯学習課											
															基本施策					⑩文化財を保存・継承します										担当係					文化係						
															分野					10-1 歴史環境の保存・活用										担当名					宮城幸也						
															その他関係施策					⑧中城の美しい自然環境を保全します										内線番号					322						
事業期間					令和			7			年			～			令和			10			年			積算資料															
事業を実施する必要性と現状の課題															事業実施効果																										
中城ハンタ道の未整備区間(県営公園内ホテル廃墟跡)の整備を実施し、全線を開通させてさらなる活用を図っていく必要がある。文化庁の補助額が当初の想定額より少なく、今後も増加が見込めないことから、当初予定していた令和7年度の事業終了が令和10年度まで延びる予定となった。年次計画の見直しを一部行い、別の補助事業を導入して実施する予定である。															・中城ハンタ道を全線開通させることにより、歴史の道のさらなる活用を図ることができる。 ・観光協会と連携して、中城城跡や県営公園と包括的活用を図ることで本村の観光振興に資することができる。																										
令和7年度					令和8年度					令和9年度																															
予算項目		事業費(千円)			内 容			予算項目		事業費(千円)			内 容			予算項目		事業費(千円)			内 容																				
報酬		4,000			資料整理1・発掘作業4			報酬		3,805			資料整理1・発掘作業4、整備委員			報酬		3,805			資料整理1・発掘作業4、整備委員																				
期末手当		970			資料整理1			期末手当		886			資料整理1			期末手当		886			資料整理1																				
旅費		241			交通費・県外旅費			旅費		573			交通費・県外旅費			旅費		573			交通費・県外旅費																				
需用費		212			消耗品			需用費					消耗品			需用費					消耗品																				
委託料		5,200			設計監理・測量等			委託料		2,486			設計監理・測量等			委託料		2,486			設計監理・測量等																				
借上料		248			車両			工事請負費		19,264			磁気探査・修復工事			工事請負費		20,870			磁気探査・修復工事																				
工事請負費		21,300			磁気探査・修復工事																																				
合計		32,171						合計		27,014						合計		28,620																							
財 源 内 訳					財 源 内 訳					財 源 内 訳																															
国庫補助金名		国宝重要文化財保存整備費補助金			25,360			千円			78.8%			国庫補助金名		国宝重要文化財保存整備費補助金			21,611			千円			80.0%			国庫補助金名		国宝重要文化財保存整備費補助金			22,896			千円			80.0%		
県補助金名		文化財保存事業補助金			757			千円			2.4%			県補助金名					千円									県補助金名					千円								
地方債								千円						地方債					千円						地方債					千円											
その他()								千円						その他()					千円						その他()					千円											
一般財源					6,054			千円			18.8%			一般財源					5,403			千円			20.0%			一般財源					5,724			千円			20.0%		
令和7年度 目標 (KPI等)					・整備予定区間の中央部約10mの路面整備 ・北側斜面の法面補強工事(約67㎡)					令和7年度 との相違点					整備予定区間の中央部約60mの整備					令和8年度 との相違点					整備予定区間の東側約100mの整備																
今後の展開					R8～10年度：整備工事 R11年度：サインの設置整備報告書の発刊					目標					未整備区間の中央部約60mの整備					目標					未整備区間の東側約100mの整備																

実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名				村内遺跡調査事業																			
令和6年度 事業費		0 千円		令和7年度 事業費		10,252 千円		対前年度 増減額		10,252 千円		総事業費 (令和7～9年度)		24,792 千円		事業区分		新規事業（通常）					
事業概要								第五次総合計画での位置付け								担当課							
村内各所に点在する埋蔵文化財（遺跡）における開発行為に対し、開発者と埋蔵文化財の取り扱いについて調整を行うため、事前に遺跡の範囲等を確認する試掘調査等を実施する。								施策の大綱		3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します								生涯学習課					
								基本施策		⑩文化財を保存・継承します								担当係		文化係			
								分野		10-1 歴史環境の保存・活用								担当名		太田樹也			
								その他関係施策										内線番号		322			
事業期間				令和		7 年		～		令和		9 年		積算資料									
事業を実施する必要性と現状の課題										事業実施効果													
開発予定地に埋蔵文化財（遺跡等）がある場合は、事前に事業者と埋蔵文化財の取り扱いに関し、開発計画を変更して保存するか、開発計画を進めるため事前に原因者負担による発掘調査を実施するかについて調整を行わなければならない。そのためには、事前に遺跡の範囲、深度、年代などについて把握しておく必要があるため試掘調査を実施する。										試掘調査を実施して、開発予定地内での埋蔵文化財の状況を把握することで、その取り扱いについて、事業者との調整を円滑に進めることができる。また、開発の途中で重要な埋蔵文化財が発見されて工事を中断するというようなことも防ぐことができる。													
令和7年度					令和8年度					令和9年度													
予算項目		事業費(千円)		内 容		予算項目		事業費(千円)		内 容		予算項目		事業費(千円)		内 容							
報 酬		1,418		発掘作業4		報 酬		5,604		資料整理1・発掘作業4		報 酬		5,604		資料整理1・発掘作業4							
旅 費		57		交通費		期末手当等		886		資料整理1		期末手当等		886		資料整理1							
需用費		206		消耗品・燃料		旅 費		142		交通費		旅 費		142		交通費							
委託料		8,351		発掘調査支援業務		需用費		211		消耗品・燃料		需用費		211		消耗品・燃料							
借上料		220		車両・機材等		借上料		427		車両・重機等		借上料		427		車両・重機等							
合計		10,252				合計		7,270				合計		7,270									
財 源 内 訳					財 源 内 訳					財 源 内 訳													
国庫補助金名		国宝重要文化財保存整備費補助金		8,000 千円		78.0%		国庫補助金名		国宝重要文化財保存整備費補助金		5,816 千円		80.0%		国庫補助金名		国宝重要文化財保存整備費補助金		5,816 千円		80.0%	
県補助金名		文化財保存事業費補助金		330 千円		3.2%		県補助金名				千円				県補助金名				千円			
地方債				千円				地方債				千円				地方債				千円			
その他（ ）				千円				その他（ ）				千円				その他（ ）				千円			
一般財源				1,922 千円		18.7%		一般財源				1,454 千円		20.0%		一般財源				1,454 千円		20.0%	
令和7年度 目標 (KPI等)		中城中学校移転先の試掘調査を実施する。				令和7年度 との相違点		県道146号から中城城跡付近まで続く伊舎堂ビラ（石畳道）の中央部の調査を実施する。				令和8年度 との相違点		伊舎堂ビラ（石畳道）の北側の調査を実施する。									
今後の展開		中学校移転先の調査結果をもとに中学校建設事業について教育総務課と調整を行う。				目 標		伊舎堂ビラ（石畳道）の中央部の調査。				目 標		伊舎堂ビラ（石畳道）の北側の調査。									

実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名		史跡整備基本計画作成事業															
令和6年度 事業費	0	千円	令和7年度 事業費	5,224	千円	対前年度 増減額	5,224	千円	総事業費 (令和7～9年度)	11,225	千円	事業区分	新規事業（通常）				
事業概要 国指定史跡の中城城跡の整備基本計画を作成する。						第五次総合計画での位置付け						担当課					
						施策の大綱		3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します						生涯学習課			
						基本施策		⑩文化財を保存・継承します						担当係		文化係	
						分野		10-1 歴史環境の保存・活用						担当名		太田樹也	
						その他関係施策								内線番号		322	
						事業期間		令和	7	年	～	令和	8	年	積算資料	有	
事業を実施する必要性と現状の課題										事業実施効果							
「整備基本計画」は、国指定史跡の適切な保存・活用の整備方針を明確にするために必要なものである。同計画は社会情勢に合わせて改正していくべきとされているが、中城城跡は平成5年度に「整備基本計画」が策定され平成24年度に改正されてから10年以上も経過し、整備進捗に遅れが生じていることから、再改正を行う。										・中城城跡の適切な保存・活用を図ることができる。							
令和7年度					令和8年度					令和9年度							
予算項目	事業費(千円)	内 容			予算項目	事業費(千円)	内 容			予算項目	事業費(千円)	内 容					
報 酬	200	整備委員5名			報 酬	200	整備委員										
旅 費	217	交通費			旅 費	737	県外旅費・交通費										
需用費	7	消耗品			需用費	26	消耗品										
委託料	4,800	整備基本計画作成委託			委託料	5,038	整備基本計画作成委託										
合計	5,224				合計	6,001				合計							
財 源 内 訳					財 源 内 訳					財 源 内 訳							
国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	3,868	千円	74.0%	国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	4,640	千円	77.3%	国庫補助金名			千円				
県補助金名	文化財保存事業費補助金	115	千円	2.2%	県補助金名			千円		県補助金名			千円				
地方債			千円		地方債			千円		地方債			千円				
その他（ ）			千円		その他（ ）			千円		その他（ ）			千円				
一般財源		1,241	千円	23.8%	一般財源		1,361	千円	22.7%	一般財源			千円				
令和7年度 目標 (KPI等)	現状確認と保存・活用上の問題点の抽出				令和7年度 との相違点	中城城跡の整備基本計画の作成				令和8年度 との相違点							
今後の展開	令和8年度に中城城跡整備基本計画を策定する。				目標	中城城跡の整備基本計画の策定				目標							

実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名		緊急発掘調査事業																			
令和6年度 事業費	0	千円	令和7年度 事業費	4,002	千円	対前年度 増減額	4,002	千円	総事業費 (令和7～9年度)	8,254	千円	事業区分	新規事業（緊急）								
事業概要						第五次総合計画での位置付け						担当課									
県営中城公園のグスク西駐車場の整備予定地周辺には、小那覇屋取遺物散布地や古墓群が保存されている。駐車場整備に伴って、令和7年度に発掘作業を行い、令和8年度に調査成果をまとめた発掘調査報告書を刊行して、関係各所に配布する。						施策の大綱						生涯学習課									
						3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します						担当係		文化係							
						基本施策						⑩文化財を保存・継承します						担当名		太田・宮城	
						分野						10-1 歴史環境の保存・活用						内線番号		322	
						その他関係施策						⑫暮らしやすい住環境と美しい景観を創出します									
事業期間						令和	7	年	～	令和	8	年	積算資料	有							
事業を実施する必要性と現状の課題										事業実施効果											
令和7年度に文化財保護法94条に基づき、県営中城公園グスク西駐車場建設に伴う小那覇屋取遺物散布地の発掘調査を行う。令和8年度はその調査成果をまとめた発掘調査報告書を発刊して、関係各所に配布する。発掘調査を行った場合は、報告書を発刊して一般に広く公開することが義務付けられているため当該事業を実施する必要がある。										・発掘調査で得られた成果を基に、護佐丸歴史資料図書等で展示会を開き、中城村の埋蔵文化財や歴史に関する情報発信を行い文化財保護意識の高揚につなげる。 ・記録等を作成することで、当時の生活環境の一部だったフルを学ぶことができる。											
令和7年度			令和8年度			令和9年度			令和9年度												
予算項目	事業費(千円)	内 容	予算項目	事業費(千円)	内 容	予算項目	事業費(千円)	内 容	予算項目	事業費(千円)	内 容										
報 酬	1,418	発掘作業員4	報 酬	2,361	資料整理員1																
旅 費	57	交通費	職員手当	886	資料整理員																
需用費	184	消耗品	報償費	36	専門家鑑定謝礼金																
委託料	1,746	遺構測量	旅 費	86	交通費																
借上料	597	調査器材・重機等	需用費	520	消耗品・印刷製本																
			借上料	363	資料整理PC																
合計	4,002		合計	4,252		合計			合計												
財 源 内 訳			財 源 内 訳			財 源 内 訳			財 源 内 訳												
国庫補助金名		千円	国庫補助金名		千円	国庫補助金名		千円	国庫補助金名		千円										
県補助金名		千円	県補助金名		千円	県補助金名		千円	県補助金名		千円										
地方債		千円	地方債		千円	地方債		千円	地方債		千円										
その他（諸収入）	緊急発掘調査受託料	4,000	千円	100.0%	緊急発掘調査受託料	4,252	千円	100.0%	その他（ ）		千円										
一般財源		2	千円		一般財源		千円		一般財源		千円										
令和7年度 目標 (KPI等)	グスク西駐車場建設予定地にある小那覇屋取遺物散布地の発掘調査を実施する。					令和7年度 との相違点	発掘調査報告書の発刊					令和8年度 との相違点									
今後の展開	歴史学習エリアとなっているため、屋敷跡のフルを駐車場予定地内に移設し、公開活用できるように沖縄県土木建築部と調整する。					目標	発掘調査報告書の発刊、関係各署への配付					目標									

実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名		文化団体育成支援事業																									
令和6年度 事業費		1,570		千円		令和7年度 事業費		1,670		千円		対前年度 増減額		100		千円		総事業費 (令和7～9年度)		5,010		千円		事業区分		継続事業	
事業概要										第五次総合計画での位置付け										担当課							
中城村の文化振興やのため、文化的団体(文化協会、中城ジュニアオーケストラ)の育成支援のため補助金を交付する。さらに、長年青少年の健全育成や音楽振興に寄与してきた中城ジュニアオーケストラが創立45周年を迎える為、記念事業に係る一部を補助するため、補助金の増額を行う。また、伝統芸能を継承する伊集打花鼓保存会「伊集の打花鼓」(県指定)、津覇伝統芸能保存会「津覇の獅子舞」(村指定)の2団体に対しても、令和7年度より後継者育成等を目的に補助金を交付する。										施策の大綱		3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します										生涯学習課					
										基本施策		⑩文化財を保存・継承します										担当係		文化係			
										分野		10-2 伝統文化・民俗芸能の継承										担当名		新垣梓			
										その他関係施策												内線番号		323			
事業期間				令和		7		年		～		令和		9		年		積算資料		無							
事業を実施する必要性と現状の課題														事業実施効果													
人材育成事業団体の自主活動の活性化のため、補助金交付などの支援が必要である。														本村の文化団体の活動が充実することで、村民に対する文化活動の推奨や文化・芸能の継承など、更なる団体活動の発展へつながり、村民がより身近に文化事業を感じられる環境が構築され、地域の文化振興の発展に資することとなる。													
令和7年度						令和8年度						令和9年度															
予算項目		事業費(千円)		内 容		予算項目		事業費(千円)		内 容		予算項目		事業費(千円)		内 容											
補助金		1,370		文化協会		補助金		1,370		文化協会		補助金		1,370		文化協会											
補助金		100		中城ジュニアオーケストラ		補助金		100		中城ジュニアオーケストラ		補助金		100		中城ジュニアオーケストラ											
補助金		100		伊集打花鼓保存会		補助金		100		伊集打花鼓保存会		補助金		100		伊集打花鼓保存会											
補助金		100		津覇伝統芸能保存会		補助金		100		津覇伝統芸能保存会		補助金		100		津覇伝統芸能保存会											
合計		1,670				合計		1,670				合計		1,670													
財 源 内 訳						財 源 内 訳						財 源 内 訳															
国庫補助金名				千円		国庫補助金名				千円		国庫補助金名				千円											
県補助金名				千円		県補助金名				千円		県補助金名				千円											
地方債				千円		地方債				千円		地方債				千円											
その他 ()				千円		その他 ()				千円		その他 ()				千円											
一般財源				1,670 千円 100.0%		一般財源				1,670 千円 100.0%		一般財源				1,670 千円 100.0%											
令和7年度 目標 (KPI等)		各団体の活動活性化と会員数の増加				令和7年度 との相違点		令和7年度と同じ				令和8年度 との相違点		令和7年度と同じ													
今後の展開		日常の練習と自主公演会の実施				目標		令和7年度と同じ				目標		令和7年度と同じ													

実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名 地域多世代交流事業												
令和6年度 事業費	0	千円	令和7年度 事業費	6,000	千円	対前年度 増減額	6,000	千円	総事業費 (令和7～9年度)	6,000	千円	事業区分 新規事業（通常）
事業概要 中城村南上原組踊保存会が、千葉県旭市（姉妹都市）にて公演を行うための補助金を交付する。			第五次総合計画での位置付け								担当課	
			施策の大綱		3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します						生涯学習課	
			基本施策		⑩文化財を保存・継承します						担当係 文化係	
			分野		10-2 伝統文化・民俗芸能の継承						担当名 新垣梓	
			その他関係施策								内線番号 323	
			事業期間		令和 7 年 ～ 令和 年		積算資料					
事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果						
中城村南上原組踊保存会の「糸蒲の縁」は、これまでに国立組踊劇場や県立博物館・美術館での上演を行い、令和元年度には日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産2019」に登録されるなど活動が盛んで、地域の活力ともなっている。地域の更なるコミュニティ強化ならびに伝統文化継承の促進を図るためにも、発表の機会創出が必要となる。また、沖縄の魅力の一つである芸能文化を県内のみならず県外への発信していく為県外公演を行う必要がある。						- 発表の機会が増えることで演じる子どもたちのモチベーションと演技力が向上し、人材育成、後継者育成にもつながる。 - 保存会の子ども達、指導者、地謡、関係者ならびに保護者、地域の人々等、多世代での関りがコミュニティ強化へと繋がっていく。 - 保存会の子ども達を支える地域の人々の活力にもなる。 - 沖縄の芸能文化を魅力を県内のみならず県外へも発信できる。						
令和7年度			令和8年度			令和9年度						
予算項目	事業費(千円)	内 容	予算項目	事業費(千円)	内 容	予算項目	事業費(千円)	内 容				
補助金	6,000	中城村南上原組踊保存会										
合計	6,000		合計	0		合計	0					
財 源 内 訳			財 源 内 訳			財 源 内 訳						
国庫補助金名		千円	国庫補助金名		千円	国庫補助金名		千円				
県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	4,800	県補助金名		千円	県補助金名		千円				
地方債		千円	地方債		千円	地方債		千円				
その他（ ）		千円	その他（ ）		千円	その他（ ）		千円				
一般財源		1,200	一般財源		千円	一般財源		千円				
令和7年度 目標 (KPI等)	千葉県旭市(姉妹都市)での公演		令和7年度 との相違点			令和8年度 との相違点						
今後の展開	自主公演や各種イベント等を計画し、それに向けた練習を行うことで、人材育成・後継者育成につなげていく。		目標			目標						